

# “ひうちの風に吹かれて歩こう” ～楠河地区～

スタート!

▼楠河公民館

約10分 ↓ 0.7km

①宇佐八幡神社

約22分 ↓ 1.5km

②世田薬師

約16分 ↓ 1.1km

③迷路ストリート

約3分 ↓ 0.2km

④うどんや

約8分 ↓ 0.5km

⑤自安橋

約6分 ↓ 0.4km

⑥鳴ヶ沢橋

約10分 ↓ 0.6km

▼楠河公民館

ゴール!



※トイレ利用

楠河公民館、世田薬師にあります。

☆歩行時間：約1時間15分

☆歩行距離：約5km

☆エネルギー消費量：約276kcal

体重60kgの人のやや早い歩行速度の場合

①宇佐八幡神社



②世田薬師



③迷路ストリート



④うどんや



⑤自安橋



10月19、20日が例祭日、境内社塞之神は、ほうそう、疫病よけ、佐野神社はのどの神、たごりの神の信仰があります。宝物に棟札九（宝暦、安永、文化）、狛犬があります。境内には、樹齢300年以上の松の木群が松食虫によって全滅し、現存巨木として山桃が市の指定保存樹木となっています。



開運・厄除け祈願のお薬師さんとして信仰を集めて親しまれています。特に夏の土用の丑の日に、きゅうりに病気を封じ込める祈祷で知られています。難病も3年続けて“きゅうり封じ”をすると、病気の「ね」が切れると言われています。



大通りを離れ、ぐるりと回って下り坂を進むと、トンネルも2つあってまるで迷路のようです。頭の上を至近距離で電車が通る、スリル満点のトンネルが体験できます。



カーブミラーが目印、右上に民家があります。実はそこは、安くておいしい“うどんやさん”があります。地元のお客さんだけでなく、遠くからもうどんファンが集まるお店です。麺が無くなれば閉店です。



楠の豊田源左衛門忠頭は、元和5年（1619）楠で生まれました。人々が大雨のたび橋のない北川を渡るのに困っているのを見て、自費を投じ石の橋をかけ、村人や旅人から大変喜ばれました。晩年は僧となり、名も自安と改めました。村人は、この橋を自安橋と名付けて彼の徳を称えました。



# 18 ひうちの風に吹かれて歩こう～楠河地区～

